



お近くの児童館へ **GO!**

児童館は、乳幼児期から中高生まで、お子さんの成長に合わせて長く楽しめる施設です。お子さんが安心して遊べる児童館にぜひ遊びに来てください! **【担当課】 育成課 ☎5654-8293**

★ **午前中は赤ちゃんとちびっこが主役!** ★

**のびのび広場で思い切り遊ぼう**

平日の午前中は乳幼児と保護者のための時間。お昼前の「親子タイム」では、親子体操や手遊びなどでお子さんと楽しく触れ合えます。

**身体測定で成長確認**

毎月行っています。一部の児童館では、誕生日などに手形・足形をとってプレゼントしています。

**赤ちゃんの駅**

おむつ替えや授乳専用スペースがあります。赤ちゃんの駅だけでもお気軽にご利用ください。

**子育ての合間にリラックス**

保護者が楽しめるエアロビクスやヨガなどの講座を開催しています。

**子育て相談もお気軽に**

子育てに関する相談もできます。右表の★印の児童館には相談室があるので、落ち着いた雰囲気です(相談専用電話もあります)。



地域	児童館名	所在地	電話番号	休館日
水元東金町	★新水元	東水元3-5-7	5699-1260 相談専用5660-0710	第4日曜日・年末年始
	幸田	西水元2-16-10	5699-1244	日曜日・祝日・年末年始
	花の木	南水元3-7-1	5699-1298	
柴又新宿	★南新宿	新宿1-23-4	5699-1333 相談専用3627-1557	第2日曜日・年末年始
	末広	金町5-4-1	5699-1275	日曜日・祝日・年末年始
	柴又	柴又2-4-5	5699-1257	
	★新柴又	柴又5-33-8	5694-2982	
鎌倉	★細田	細田4-19-8	5694-3254 相談専用3671-5161	第4日曜日・年末年始
	鎌倉(中高生対応)	鎌倉2-6-20	5694-2292	日曜日・祝日・年末年始
奥新小岩	★児童会館(中高生対応)	西新小岩4-33-2	5698-1700 相談専用3694-5006	第2日曜日・年末年始
	南奥戸	奥戸2-30-11	5698-1707	日曜日・祝日・年末年始
	西奥戸	奥戸1-12-1	5698-1704	
	東奥戸	奥戸4-20-11	5698-1705	
	★新小岩	新小岩3-13-23	5607-0721	
青戸有花茶屋	★白鳥	白鳥3-32-6	3602-3452 相談専用3602-6821	第4日曜日・年末年始
	西亀有	西亀有4-24-1	5616-1776	日曜日・祝日・年末年始
	亀有	亀有1-17-5	3604-7756	
	中道	西亀有1-2-7	3604-6561	
	★青戸中央	青戸6-16-12	3604-6306	
立石四つ木	★渋江	東四つ木2-15-11	5698-1702 相談専用3696-5061	第4日曜日・年末年始
	梅田	立石3-26-10	5698-1701	日曜日・祝日・年末年始
小堀	★小菅	小菅2-19-13	3604-2645 相談専用3601-6135	第2日曜日・年末年始
	宝町	宝町1-5-1	5698-1703	日曜日・祝日・年末年始
	堀切	堀切1-9-18	5698-1706	
	東堀切	東堀切2-20-8	3602-6808	

開館時間/午前10時～午後6時(鎌倉児童館・児童会館は午後8時まで。児童会館の日曜日・祝日は午後6時まで)

**子育てに役立つ生と性の講座**  
**子どもへの命と性の伝え方 全2回**

区民大学単位認定講座。

- 【日時】 9月6日(金)・13日(金)午前10時～正午
- 【会場】 ウィメンズバル(立石5-27-1)
- 【対象】 乳幼児の保護者15人
- 【講師】 井出陽子氏(助産師)
- 【費用】 500円
- 【保育】 2歳以上就学前のお子さん6人
- 【申込方法】



ハガキかファクスに「生と性」・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・ファクス番号・保育希望の方はお子さんの名前(フリガナ)と年齢を書いて、8月29日(木)(必着)まで(多数抽選)。電子申請可。

【申し込み・担当課】  
 〒124-8555 葛飾区役所 生涯学習課 FAX5698-1541

**1歳児の子育て講座 全6回**

親同士が交流しながら、子育てについて学びます。

- 【日時・会場】 9月17日(火)・24日(火)、10月1日(火)・7日(月)・15日(火)午前10時～11時30分/金町地区センター(東金町1-22-1)、10月2日(水)午前10時30分～正午/南新宿児童館(新宿1-23-4)
- 【対象】 区内在住で、平成24年3月16日～9月17日に生まれた第一子のお子さんと保護者15組
- 【申込方法】

ハガキに「1歳児の子育て」・住所・親子の氏名(フリガナ)・親の年齢・お子さんの生年月日・電話番号を書いて、8月19日(月)(必着)まで(多数抽選)。電子申請可。

【申し込み・担当課】  
 〒124-8555 葛飾区役所 地域教育課



**消費生活情報**

**くらしのまど**

**家庭内での事故から子どもを守る**

夏休みは子どもが家で過ごす時間が多くなるため、家庭での事故に特に気を付ける必要があります。実際に起きた事故の事例と、事故を防ぐための注意点を紹介します。

【担当課】消費生活センター  
 (立石5-27-1ウィメンズバル内)  
 ☎(5698)2311

**転落事故(3歳)**

9歳の姉と留守番中に、窓際に置かれたソファに登り、網戸を突き破ってマンションの4階から地上に落ちた。

**▽注意点**

め、鼻の中の組織が壊死し、皮膚・粘膜の移植手術が必要となった。

▽注意点  
 鼻や耳に異物が入った場合、早めに取り出さないと重症化する恐れがあります。飲み込んだ場合も、物によっては胃酸により硬くなり危険性が増すことがあります。一刻も早く医療機関を受診しましょう。

**火遊びによる火災(5歳)**

深夜、母親と弟が就寝中に一人で起きて、台所にあつたライターで新聞紙に火を付けて遊び、火災になった。

**▽注意点**

ライター、マッチなどは子どもの目に触れず、手の届かない場所に鍵をかけるなどして厳重に管理しましょう。

**異物が体内に入った事故(3歳)**

鼻の中にボタン電池が入ってしまった。気付くまでに時間がかかった

子どもは、大人が思いもかけない行動や反応をするため、不慮の事故が起こることがあります。身近な場所から危険が予想されるものはなくすなど、大人が安全な環境を整え、事故を未然に防ぐことが大切です。

消費者庁「子どもを事故から守る」プロジェクト(http://www.caago.jp/kodom)でも安全チェックリストや体験談などを紹介しています。